



宝永小だより

No.19

福井市宝永小学校
令和6年12月13日

学校教育目標：ひとり立ちできる子 ～心身共にたくましく、進んで学び合い、高め合う児童の育成～
めざす児童像：進んで学び合える子・協力し合える子・心と体を鍛える子・ふるさとを大切にできる子

研究主題「自ら考動し、学び合う子をめざして」 11月13日(水)

今年度2回目の指導主事学校訪問では、福井市教育委員会の指導主事に、本校の教育活動を観ていただきました。他校教員の参観もありました。

【提案授業】6年1組 学級活動『6-1フェスティバル play』を全員が輝けるものにするための工夫を決めよう。

これまでに、子どもたちは、1学期末に振り返った学級の様子を元に、現在の学級の様子について、成長した点と改善すべき点について話し合ってきました。そして、学級をよりよくするためのフェスティバルを企画する話し合いを進めてきました。この時間は、「全員が輝けるものにする」という視点に合ったフェスティバルになるよう、内容や決まりについて話し合う授業でした。

○「全員が輝ける」ということがどういうことかを確認する。

「主役」「楽しい」「協力」「達成感」「笑顔」の5つの項目を元に、フェスティバルの目的について確認することができました。

○「しっぽとりとケイドロ」を組み合わせて、どんなゲームにすることができるか、アイデアを個人で考える。

アプリの共有機能を用い、仲間のアイデアを参考にしながら、多くのアイデアが出されました。

○グループに分かれて、アイデアをどのようにまとめていくかを決めて話し合う。

タブレット操作や司会進行など、役割分担をして、活発に話し合いを進め、意見をまとめていくことができました。

○学級全体でアイデアを共有し、「全員が輝ける」という視点でよりよいゲームの工夫について合意形成を図る。

各グループの意見を発表し、意見の違いを認め合いながら、学級全体のよりよい意見としてまとめることができました。

○話し合う活動を通しての振り返りをノートにまとめる。

子どもたちは、ノートに振り返りを書いていました。

＜6年児童＞ほくは、今日の学活で、ミッションなどの要素を加えることで、より一層面白くなるのだと思いました。その要素を全員が楽しめるかどうかを考えると、やはり難しいものなのかなと、今日、改めて思いました。平等、公平といった、みんなが輝けるクラスをこれからも築いていきたいです。



＜1年 生活＞「あきのおもちゃをつくろう」
＜3年 国語＞「おすめの1さつを決めよう」
＜4年 算数＞「面積」
＜5年 国語＞「よりよい学校生活のために」

放課後の研究協議会では、これまでの授業実践をもとに、「自己や他者との対話を通して自己決定する場面のある授業づくり」と「自分の思いや考えを適切に表現できる授業づくり・学級づくり」について、グループ協議をしました。提案授業の「児童・教員・学習環境等の良かった点」「自己決定していた場面」「提案・改善できる点」について、各教員がタブレットに書き込みをしておき、それをもとに意見交換し、まとめていきま



＜グループからの報告＞

した。その後、各グループからの報告を行いました。

指導主事からは、授業についての指導助言をいただきました。どの授業でも、子どもたちが主体的に学びを楽しんでいる姿があり、教員の前向きな姿勢がそうさせていることなど、授業や研究協議会から見てきた本校のよいところを教えてくださいました。子どもたちの遊ぶ機会が減り、他者との関わり方を経験的に学ぶ機会が少ない昨今において、本校が取り組んでいるポジティブ教育は大変意義のあることであると認めていただきました。また、特別活動の重要性や自己決定する場面の充実について指導助言をいただきました。そして、最後に、「こんな職場なら、勤めたい。」と言っていただきました。今後も、さらに、教職員が協働して高め合いながら、子どもたちの「主体的・対話的な学びを通して自己決定できる力の育成」のために、授業研究に努めていきます。

3年生 混ぜるのが大変「味噌づくり」 11月14日(木)

＜材料を混ぜる子どもたち＞→
国語科「すがたをかえる大豆」、社会科「工場のしごと」の一環として、子どもたちは、11月1日(金)に「米五」へ出かけました。子どもたちは、味噌工場の見学を通して、味噌ができるまでの工程の長さや大変さを感じるとともに、働かされている方々の苦労や工夫を知ることができました。そして、11月14日(木)には、実際に、「味噌づくり」体験をしました。「米五」の多田社長が講師を務めてくださいました。子どもたちにとっては、大豆と塩と米こうじを混ぜ合わせることが大変だったようです。日本の代表的な伝統食品である味噌について、五感を働かせて学び、食の楽しみや大切さなどの理解を深めることができました。



先輩と共にあいさつ運動 11月21日(木)・22日(金)

登校時、進明中学校区の「小中合同あいさつ運動」を行いました。

初日は、進明中学校の2・3年生23名、2日目は1年生18名が、本校の企画・生活委員の子どもたちと一緒にあいさつ運動に参加してくれました。本校の卒業生が、母校の後輩のために集ってくれて、よいお手本を示してくれるのは、本当にありがたいことです。中学生の皆さん、ありがとうございました。



＜最後に、「ありがとうございました。」＞

地域のお宝に出会った「ふれあい集会」 11月14日(木)

子どもたちは、「宝永地区たてわりウ

ォークラリー」に出かけました。事前に、にこフレ班毎に、見学先や体験先を相談して決めました。そして、当日は、にこフレ班のメンバーで宝永地区を周り、クイズを解いたり、体験をしたりして、「お宝さん」(地域の史跡や人)と触れ合うことができました。特に、体験先では、下記のように、貴重な体験をさせていただきました。

校内でのにこフレ班活動は、これまでも繰り返し行っていますが、今年度のメンバーで地域へ出かけるのは今回が初めてでした。子どもたちは、この集会を通して、にこフレ班の一員としての意識を高め、協力することや各自の役割を果たすことの大切さを改めて学ぶことができました。5年児童の感想には、「来年は、ぼくが6年生なので、今の6年生のように、下の学年をまとめていきたいです。」と決意が書かれていました。上級生の姿を見て、着実に育っている子どもたちを、嬉しく、そして、頼もしく思います。

宝永地区には、様々な施設や店舗があり、子どもたちを大事にしてくださる地域の皆様がたくさんいらっしゃることを大変ありがたく思っています。今後も、宝永地区のよさを発見したり、地域の皆様と関わったりして、地域への愛情を深めていってくださることを願っています。

各施設・店舗の皆様、付き添いをしてくださった保護者ボランティアの皆様、お忙しい中、ご協力いただき、本当にありがとうございました。



国際交流会館「館内見学」

<4年児童>国際交流会館は、ちょうちんの形でできていることが分かりました。大きな地球ぎがあって、ボタンをおすと回ったりして、すごかったです。



市営体育館「弓道」

<5年児童>プロの人が、まどに当てていて、すごいなと思いました。自分が実際にやってみると、全然まどに当たらず、むずかしかったです。弓道をしたことがある友達に弓の持ち方を教えてもらって、2回目は、まん中の1つ外側に当たって、うれしかったです。



どらごんぶっくす「お魚キャッチャー作り」

<3年児童>はじめて、どらごんぶっくすに行きました。いろいろな本があって、びっくりしました。お魚キャッチャーを作って、たいへんだったけど、じょうずにできたし、楽しかったです。ゼムクリップを使って作って、お魚キャッチャーを作ったのがたいへんでした。



神明神社「火起こし」

<4年児童>火起こし体験をして、手がすごくつかれました。1回で火を起こした子もいて、すごいと思いました。わたしは、けむりしか出なかったけど、いい体験になりました。はんでも協力できて、よかったです。次、行ったときは火をつけたいと思いました。



松井先生「ピアノ演奏」

<4年児童>松井先生のピアノはすごかったです。なぜかという、ぼくたちが選んだ曲をほとんどひいてくれたからです。特にすごかったのが、クラシック曲を楽ふを見ないでひいていたことです。そこまで暗記しているのは、いっぱいひいて、覚えたのだなと思いました。



千福寺「お寺でジャズ」

<4年児童>ぼくは、初めてジャズを体験しました。プロの方が校歌えんそうと校歌をジャズっぽくしてえんそうしていて、カッコいいなと思いました。ジャズには、始まりがあって、それを聞いておどろきました。最後にプロの方が「かれは」という曲をえんそうしていて、いっしょに楽器を自由に使ってえんそうできて楽しかったです。



郷土歴史博物館「着付け体験」

<4年児童>着付け体験をして、昔の着物を着ることができてよかったです。刀みたいなものは、少し重かったです。昔の車みたいなものは、乗ってドアをしめると、暗くてこわかったです。



体育館「フォークダンス」

<4年児童>わたしはフォークダンスを初めてしました。フォークダンスはむずかしいと思っていたけど、意外とかんたんだったし、楽しかったです。いろいろな曲で、たくさんできたので、よかったです。全曲、楽しかったです。



図工室「もの作り」

<5年児童>お宝さんから、新聞を使った工作を教してもらいました。紙鉄ぼうを作ったり、ボールを作ったりしました。最後にペットを作りました。足を細くつつにするのが、とてもむずかしかったです。



吉塚道場「空手」

<5年児童>思っていたイメージと空手は全然ちがったけど、自分を守るためにやるということを初めて知りました。知らないわざもたくさんあって、すごくむずかしかったけど、いい体験になったので、よかったです。空手の最後に、スクワットやうで立てふせをして、空手をしている人は、こんなに努力しているんだなと感心しました。



きものギャラリー本嶋「着物関係」

<1年児童>きつきたいけれど、ゆかたをきるのが、たのしかったです。おたからさんにれいぎ正しいすわりかたをおしえてもらいました。足をよこにひろげたらだめだということをはじめてしりました。



永井先生「英語活動」

<2年児童>えい語で自分の名前を言って、ハートをつぎの人にわたすミニゲームをしました。えい語は、ちょっとだけのがたけど、みんなとやれば楽しかったし、かずみ先生のおかげで、えい語をがんばれます。

<6年児童>班長として先頭に立ち、みんなを安全に連れて行くことができました。また、クイズもみんなに楽しんでもらったので、とてもうれしかったです。今日までルートを決めたり、説明の練習をしたりといろいろ準備してきたので、うまく案内することができました。この体験を通して、協力する大切さを改めて学べたので、今後の活動に生かしたいです。

<保護者ボランティアの方の感想>貴重な感想を寄せていただき、ありがとうございます。ふれあい集会では、こちらこそ、大変楽しい時間をありがとうございました。事前に、お手紙をくださって、当日を心待ちにしていました。また、6年生の皆さんが、あらかじめ、お宝さんにお話を聞きに行き、クイズを考えていたことを知りました。準備をしっかりしてくれたお陰で、短時間でも充実した活動であったと思います。6年生が下級生を気にかけて行動していたのが、優しくて良かったです。お写真とお手紙も嬉しかったです。ありがとうございました。

*保護者の皆様には、お忙しいところ、12月4日(水)~6日(金)の教育懇談会にお越しいただき、ありがとうございました。今後も、保護者の皆様とコミュニケーションを図りながら、お子様の成長と一緒に支援していきたいと考えています。よろしくお祈りします。